

過去の「みどころ」はHPの  
2ページ目以降にあります



①ソメイヨシノ (バラ科)  
ウッドィ広場に4本のソメイヨシノがあります。



②エドヒガン (バラ科)  
ソメイヨシノよりは、少し早めに開花します。



③ヤマザクラ (バラ科)  
ソメイヨシノより少し開花が遅めです。



⑥コバノミツバツツジ (ツツジ科)  
現在、ほぼ満開です。令和5年4月21日付けで植物群落としては三木市初の天然記念物指定を受けました。



④オオイヌノフグリ (オオバコ科)  
オオイヌノフグリ、ホトケノザは、早春～春にかけて小さいけれども可愛らしい花を咲かせます。



⑤ホトケノザ (シソ科)

⑦カンサイタンポポ (キク科)  
在来のタンポポのカンサイタンポポが咲いています。花を包む総苞片そうほうへん (花全体の基部を包むもの) が写真のとおり反り返らないのが特徴です。○印が反り返っていない総苞片です。



⑧アカシデの雄花 (カバノキ科)  
雄花序は黄褐色で、前年枝から垂れ下がり端正な趣があります。



⑨ヤマナラシの雌花 (ヤナギ科)  
ポプラの仲間、葉が微風でも揺られて音をたてることからこの名前が付けました。5月頃綿毛のついた種子を散布します。



⑩オカヨシガモの雌雄 (カモ科)  
令和6年シーズンは、カモのメインがヨシガモからオカヨシガモに変わりました。4月上旬では下池を中心に三木山に留まってくれています。クチバシが黒いものが雄で、橙色のものが雌です。



⑪アオジ (ホオジロ科)



⑫ホオジロ (ホオジロ科)  
園内では、雄のきれいなさえずりがよく聞こえます。ちなみに、ホオジロは留鳥(1年中日本にいます)です。



⑬トラフシジミ (シジミチョウ科)  
蛹で越冬するため、成虫は早春から見られます。

⑬トラフシジミ (シジミチョウ科)



⑭ルリタテハ (タテハチョウ科)  
成虫で越冬するため、早春には飛び始めます。幼虫はサルトリイバラなどを食草とします。